

日本留学説明会報告～インド工科大学カラグプール校 (IITKGP)～

平成 29 年 11 月 16 日-17 日

(蘇迪(スデイ)特任講師 東大工学系大学院社会基盤学 専攻研究分野 : Bridge and Structure、吉野)

IITKGP (<http://www.iitkgp.ac.in/>)

コルカタ空港から車で片道約 3 時間の郊外に建つ校舎は、インド工科大学として最初に 1951 年英国植民地時代の政治犯収容所跡地に創立された伝統あるものです。近年では Google 社 Sundar Pichai 社長の母校 (金属工学科卒) としても知られています。IIT23 校中最大の学生数となる 2016 年学部新生受入全体 10435 人中 1341 人、を誇ります。同時に、IIT の中で唯一 School of Medical Science and Technology を有し米国 John Hopkins University と提携しています (付属病院建設予定)。日本との提携先は、理化学研究所と 3 大学 : 東大、京大と首都大学東京です。(写真 : IITKGP の HP より)



● 研究所訪問 ●

- ★ Electronics and Electrical Communication Eng. にて 構造物ヘルスマニタリング Lab を見学しました。
- ★ 鉄道研究所にて 機械分野の研究室を見学、特に列車と風連成解析を交流しました。

● 留学説明会 ●

参加学生数 22 人 (内女子学生 4 人) 全員日本への訪問未経験でした。吉野による 30 分間の日本紹介に続いて、スデイ先生が 30 分東大の紹介を行いました。参加者の興味は、短期研修インターンシッププログラムに多く寄せられ、また、博士学生からは、交換留学での東大在籍に関して質問が集中していました。

● スデイ先生の講義 ● 17 日午前 9 時～午後 1 時

Civil Eng. 学科にて、スデイ先生の講義を開講しました。参加学生 15 人。
鉄道分野での Civil Eng. 関連研究ラボを紹介、学生に有用な情報を提供しました。

● 研究所見学 ●

- ★ 複合建設材料 LAB
- ★ Pavement LAB (国産アスファルトを使った舗装道路建設研究)

写真左 : IITKGP の方々と一緒に

右から二人目 : Prof. Sudharkar Reddy 学科長

右から三人目 : 蘇先生

